

16 東京法学院学則中課定表改正 (明治二十八年七月)

(欄外注記1)  
明治廿八年七月廿二日受  
日出 内務部第三課主任属横田茂次郎(印)

知事(三浦安印) 内務部長(山県印) 第三課長(谷口印) 学務掛(奥村印)

法律学校課定表更正ノ件

(朱書)  
〔内三丙第四七六八号ノ二〕

私立東京法学院設立者

菊地武夫

割印

(欄外注記2)  
明治廿八年七月廿日付願其院学則中課定表ヲ改正シ次学年ヨリ  
実施ノ件認可ス

年 月 日

知事

(朱書)  
〔同号〕

右認可ニ関シ開申按

府下私立東京法学院設立者菊地武夫ヨリ同院学則中課定表改正  
之義出願候ニ付別紙之通認可候条此段開申候也

級 年 一 第				級 別	科 目
業 毎 時 週 間 授	期 後	業 毎 時 週 間 授	期 前		
二	同 右	二	スヲ律一ニテ科英 トヲ授観一関法ニ教一 教原氏テハニ語 ス主ク念般ス律就科定 授論法リ別於法 旨ルヲノルニキ書ノ	論 法 学 通	民 法 及 商 法 刑 法 訴訟 法 証 法 効 時 法 際 国 学 理 法 擬 判 学 法 国 学 理 論 学 濟 經 法 馬 羅 外 科
				例 法	
二	同 右	二	旨ル教理一関為上体権主私 トヲ授論般ス等ノ法ノ体權 ス主スヲノルニ行律物私ノ	総 民 論 法	
二	同 右	二	ス考ヲ馬(五第得産及部スニ親編人民既 ト參法羅(章十編取財分ル関族中事法成	法 親 族	
二	同 右	二	ス考ヲ馬(章十及三第得産中民既 ト參法羅 四第章十編取財法成	法 相 続	
二	同 右	二	トヲ代及(八章編法一編産法既 參理仏(英章及第第章第取中成 考法 國 第五一商十得財民	代 理 法	
四	同 右	四	授約氏アテ法ス參法民法法英(羅一權民七第七五第産第中既 ス法英ンハ科)考ノ法、國馬部保中既編商及章得部産民法 ヲ國ソ別ニ英語トヲ務國私契法、編債成第法第第編財編法 教契ンニ於	人 權 法	
六	部 第 保 權 中 民 既 二 編 担 債 法 成	六	ト參部權法國及馬(二章第得産部第産中民既 ス考ヲノ物民仏法羅章第一編取財一編財法成	法 物 權	
二	同 右	二	ス 旨 ヲ ク ヲ 通 ス ニ 商 ト 主 ル 授 則 ル 関 法	總 商 論 法	
				法 社 會	
				法 手 形	
				法 買 賣	
				法 寄 託	
				法 海 商	
				法 破 産	
				法 保 險	
二	同 右	二	汎 論	法 刑	
二	同 右	二	ス考ヲ訟事國(法訴刑 ト參法訴刑獨 訟事	法 訟 訴	
				法 拋 証	
				法 効 時	
一	部 スニ分國編人民既法國 分ル関限民中事法成 籍			法 際 国	
				学 理 法	
				擬 判 律	
				学 法 国	
二	法 納 婦	二	明 及 理 的 形 因 学 論 式	学 理 論	
				学 濟 經	
二	同 右	二	綱 法 羅 論 馬	法 馬 羅	
	同 右		ス撰之隨目(課 定ヲ時ハ課	外 科	

課

程

表





年月日

府知事

（印）  
文部大臣宛

理由 課定表中不完全ノ廉ナキモノト被認候ニ付認可之上文  
部大臣へ開申相成可然存候但元特別認可ノ学校ニ於テ学  
則ヲ改正スルトキハ文部大臣へ開申候ノ成規ニ有之候

（欄外注記3）

昨二十七年八月十四日附ヲ以テ御認可相成リタル本院学則中課  
定表今般別紙之通り相改メ次学年（来ル九月）ヨリ実施仕度候  
ニ付御認可被成下度此段奉願候也

私立東京法学院設立者

明治二十八年七月

法学博士 菊池武夫（印）

東京府知事 三浦 安殿

（割印）

前書出願ニ付奥印候也

明治廿八年七月十九日

東京市神田区長 沢 簡徳（印）

（欄外注記1）

「収受内三丙四七六八号」「判決七月二十三日」「施行七月二  
十四日」

（欄外注記2）

「帳簿記載済」「完結」

（欄外注記3）

「収受二十八年七月二十日・内三丙四七六八号」

〔明治二十八年 第一種 第三課 文書類別 学務〕

各種学校ニ関スル書類ニ

621 A6 4